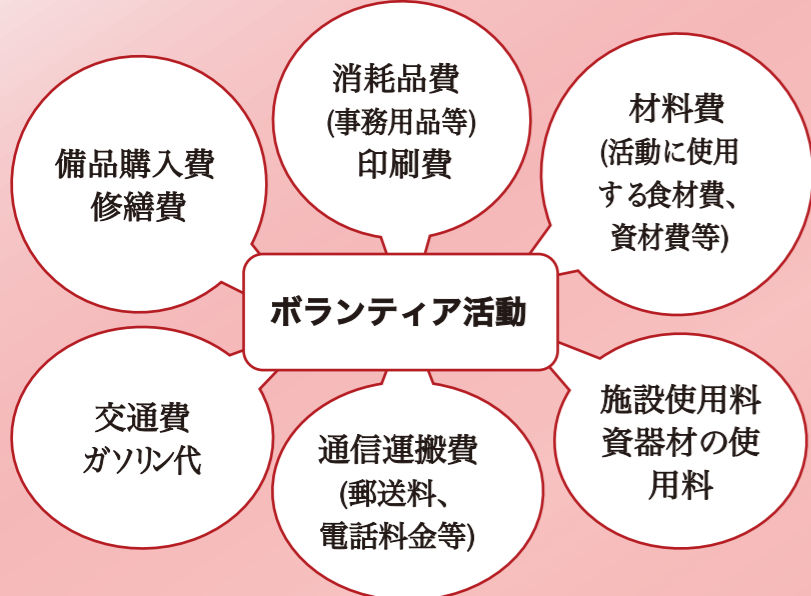


ご存知ですか？

赤い羽根共同募金とボランティア団体とのつながり



ボランティア団体の多くは、会費によって運営しています。団体により活動は様々ですが、活動をしていく中で、いろいろな出費があります。そんな活動の心強い味方が、赤い羽根共同募金から出ている活動助成金です。この助成金は、ボランティア活動を続けていくためにとても大切なものです。

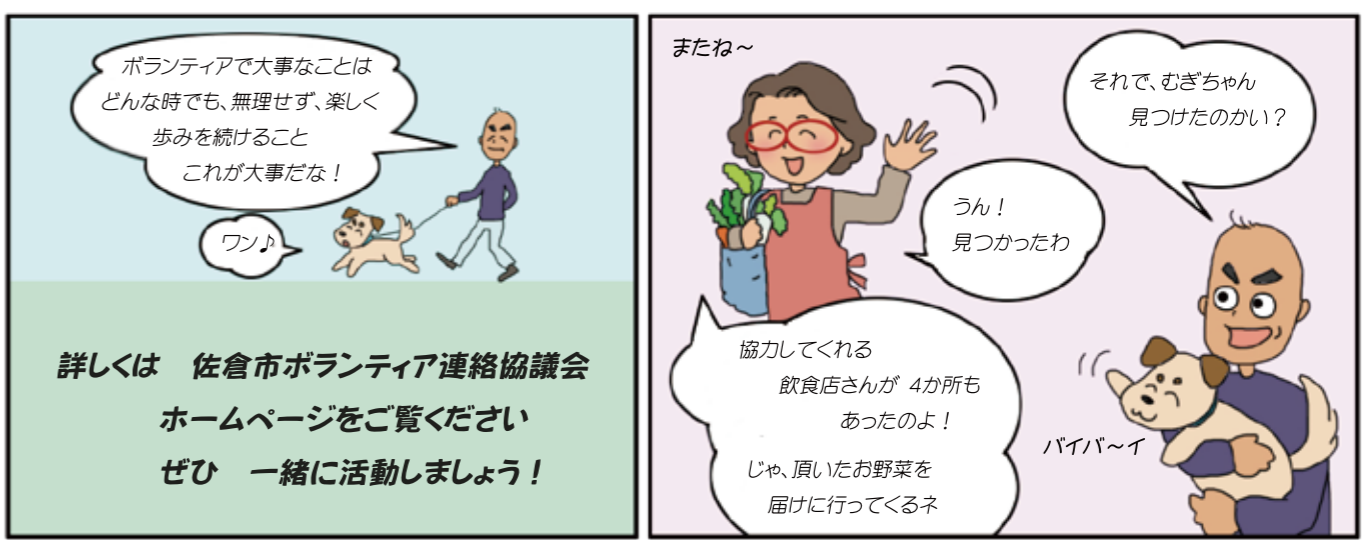
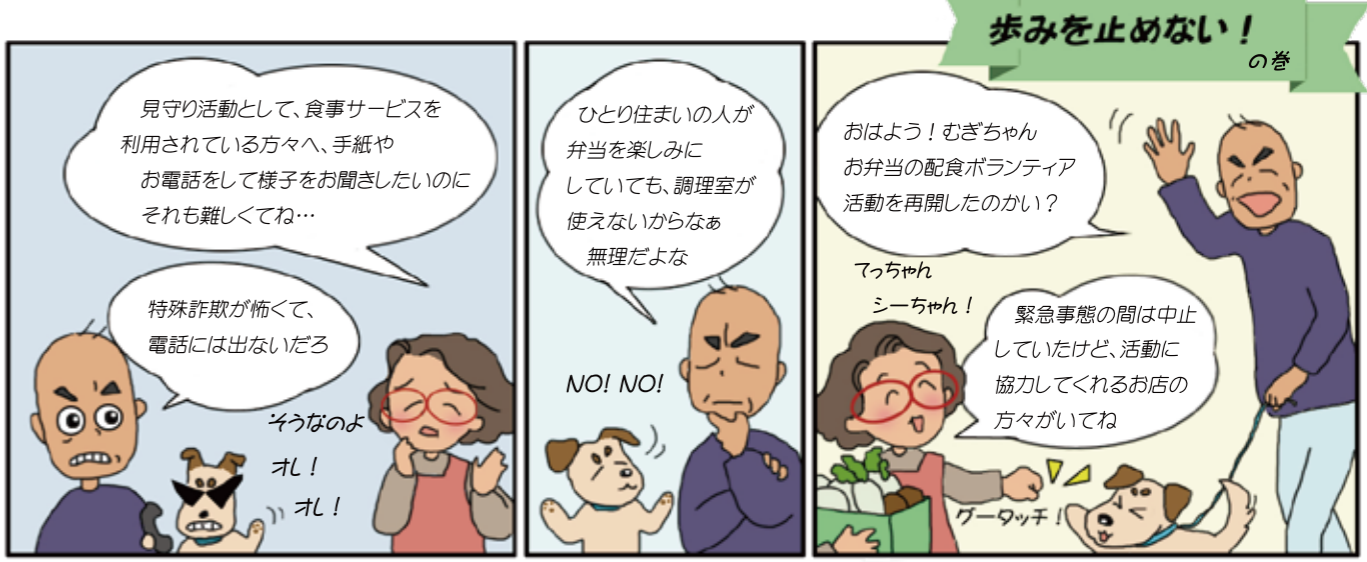
詳しくは、社協さくら (第204号) 2021年10月1日号に掲載されています。

助成金の主なつかいみち

みなさまの赤い羽根共同募金へのご協力に深く感謝しています。

楽しく 無理せず 自分らしく はらっぱ 第48号

編集・発行
佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)
はらっぱ編集委員会
〒285-0013
佐倉市海隣寺町87
佐倉市ボランティアセンター内
TEL 043-484-6198
FAX 043-486-2518



作画・大橋カズミ

…1年を振り返って…

佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)は、この1年もコロナ感染症の影響を受け、主な活動を自粛せざるを得ない状況でした。佐倉市社会福祉協議会のサポートをいただき、V連の定例会や広報紙「はらっぱ」の編集委員会などリモート会議で行いました。みなさんの活動はいかがでしたか。

昨年9月末に緊急事態宣言が解除され、少し落ち着いたところで12月に運営委員会を開催し、会員の方たちとようやく顔を合わせて話すことができました。このコロナ禍でも歩みを止めず、少しずつでも活動を続けてきた個人の方や団体がいる一方で、施設訪問などの活動はどうしても制限されました。どの方たちも日頃からボランティア活動に情熱を持っているみなさんです。そういうお話を聞いて私たちV連も、コロナ禍でもできる活動を見つけて繋がっていきたいと思いました。

これからもコロナ感染症の影響を受ける日が続くと思いますが、感染症対策をしっかりと私たちの活動から感染を出さないように気を付けて進んでいきたいと思っています。



令和3年度 V連活動状況

- V連主催
 - 第1回運営委員会(書面決議)
 - バス研修 中止
 - 第2回運営委員会(12/5)
 - ボランティアのつどい 中止
- ※機関紙・広報紙発行 V連だより・「はらっぱ」48号
- 実行委員として参加協力
 - 障害者作品展 中止
 - ボランティア・市民活動 フェスタ 2021in 佐倉 中止



第2回 運営委員会の様子

